

「令和元年度重点事業の執行及び9月補正予算編成に関する要望書」を提出

本県は「リニア大交流圏」の誕生を見据え、国内外から大きな期待と注目を集めるジブリパークの整備や、第20回アジア競技大会の開催など、我が国の潜在能力を一段と高め、成長を加速させる、本県発のプロジェクトを、強力かつ着実に推進していく必要があります。

一方、厳しい財政状況の中にあっても限られた財源を効果的に配分し、医療・介護、子育て、また教育や中小企業支援など、県民の暮らしを足元から支える施策にもしっかりと取り組んでいく必要があります。

令和元年度の重点事業の執行及び9月補正予算の編成に当たり、人口減少・超高齢社会などの地域における大きな課題を克服し、“活気ある温かな地域づくり”を目指して、お互いに支え合える地域、産業及び観光などに魅力ある地域、地震などの災害に強く安心できる地域、高齢者も若者も男性も女性も誰もが活躍できる、活力ある地域づくりを進めるため、次の事項を重点的に実施されるよう強く要望しました。

I 支え合う地域づくり / 全21項目 (一部のみ抜粋)

- 1 医療、介護、予防、生活支援、住まいを地域で切れ目なく一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を、在宅医療の提供体制と在宅介護サービスの基盤との整合性を確保しながら、県内全域で着実に促進すること。
- 2 仕事と介護が両立できるよう、社会の活力の維持・発展に配慮しつつ、介護現場の職場環境改善や、離職防止、介護人材の確保への取り組みを推進すること。

II 魅力ある地域づくり / 全22項目 (一部のみ抜粋)

- 1 愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たっては、人口ビジョンや戦略で示した将来展望や目標を踏まえ、国の交付金等を有効に活用しつつ、施策・事業を着実に推進すること。また、2019年度が5か年の総合戦略の最終年度にあたることから、現行の総合戦略の成果や課題を踏まえ、次期戦略を策定すること。
- 2 経済面・社会面・環境面の調和を取りながら、活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指し、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取り組みを推進すること。

III 安心な地域づくり / 全21項目 (一部のみ抜粋)

- 1 愛知県地域強靱化計画に基づき、大規模自然災害が発生した場合でも、県民の生命・財産が守られ、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会経済活動が維持されるよう、国や市町村、経済団体、民間事業者や大学等の関係者と相互に連携し、本県の強靱化を推進すること。
- 2 災害対応の迅速化と市町村間で切れ目のない災害対応に向け、市町村防災支援システム未導入の市町村に対し、早期の導入を働きかけること。

IV 活力ある地域づくり / 全25項目 (一部のみ抜粋)

- 1 リニア中央新幹線名古屋開業に伴う5千万人リニア大交流圏の誕生を見据え、時機を逃さず二本目滑走路の整備を進める等、中部国際空港の機能拡充に向け積極的に取り組んでいくこと。
- 2 県営名古屋空港では、空港利用者の利便性向上も踏まえ、周辺道路での渋滞の緩和に向け、アクセス道路の改善等を図るなど、必要な周辺整備を推進すること。

